

事務事業評価シート

(平成 26 年度実施事業)

事務事業名	老人のための明るいまちづくり推進事業			事業コード	0434
所属コード	066500	課等名	長寿社会課	係名	生きがい推進係
課長名	藤澤 忠範	担当者名	弥藤 紘子	内線番号	3568
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード	1
	施策	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	コード	4
	基本事業	高齢者の社会参加の促進	コード	1
予算費目名	一般会計 3 款 1 項 3 目 老人のための明るいまち推進事業（007-01）			
特記事項				
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度		開始年度	昭和 51 年度
根拠法令等	特になし			

(2) 事務事業の概要

高齢者の生きがい対策のために、専門に職員(非常勤)を置き、生きがい対策を推進するとともに、高齢者の趣味・文化活動を促進するため、活動成果を発表する機会として各種行事を開催する。

また、緊急雇用創出事業を活用した、世代間交流サロン支援事業を実施している。

(3) この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

昭和 51 年 10 月に施行された「老人のための明るいまち推進事業要綱」に基づき推進。

平成 24 年度より、緊急雇用創出事業を利用し、次の事業を実施している。(平成 26 年度まで)

・世代間交流サロン支援事業(生涯現役・全員参加・世代継承型雇用創出事業)

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

盛岡市老人作品展、芸能大会については、芸術文化活動の発表の場として、出場者及び出品者に定着している。

高齢社会が急速に進行する中で、高齢者の生きがいづくりに対する多様なニーズに対応できる活動の展開が必要となっている。

緊急雇用創出事業を活用し、盛岡市内のサロン活動を支援するとともに、被災地でのサロン活動についても支援している。

2 事務事業の実施状況（Do）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）対象（誰が，何が対象か）

60 歳以上の高齢者

（2）対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 見込み	26 年度 実績
A 60 歳以上の高齢者	人	87,605	89,549	91,103	92,600	92,476
B 老人クラブ加入者	人	15,039	14,702	14,493	15,400	14,235
C 市内のサロン数	件	135	155	169	180	174

（3）26 年度に実施した主な活動・手順

盛岡市老人作品展(10 月)，芸能大会(2 月)を盛岡市社会福祉協議会と盛岡市老人クラブ連合会と共催し，開催した。

（4）活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 老人作品展及び老人芸能大会の出品者・出場者数	人	672	698	597	750	592
B 老人作品展及び老人芸能大会の参加人数	人	2,830	2,603	2,146	2,500	2,038
C						

（5）意図（対象をどのように変えるのか）

趣味に取り組んだり，レクリエーション活動に参加するようになる。

市内のサロン活動促進し，地域の交流を図る。被災地や復興支援センターでのサロン活動を実施することで，復興支援活動の継続を図る。

（6）成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A (老人作品展及び老人芸能大会の出品者・出場者/高齢者)×100	■上げる □下げる □維持	%	0.7	0.7	0.6	0.8	0.6
B (老人作品展及び老人芸能大会の参加者/高齢者)×100	■上げる □下げる □維持	%	3.2	2.9	2.3	2.6	2.2
C (老人作品展及び老人芸能大会の参加者/老人クラブ加入者)×100	■上げる □下げる □維持	%	18.8	17.7	14.8	16.2	14.3

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 計画	26 年度 実績
事業費	① 国	千円	0	0	0	0	0
	② 県	千円	6,250	6,095	6,610	7,541	6,117
	③地方債	千円	0	0	0	0	0
	④一般財源	千円	2,886	2,858	2,968	3,015	3,143
	⑤その他()	千円	0	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	9,136	8,953	9,578	10,556	9,260
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	28	28	28	28	28
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	112	112	112	112	112
計	トータルコスト A+B	千円	9,248	9,065	9,690	10,668	9,372
備考							

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

結びついている。

理由；高齢者の趣味・文化活動等の成果発表の各種行事の開催により、生きがい活動や社会参加活動が促進され、高齢者の元気な暮らしにつながることから、結びついている。

② 市の関与の妥当性

妥当である。

理由；高齢社会が急速に進行する中で、高齢者の生きがい対策を推進することは行政の役割である。

③ 対象の妥当性

現状で妥当である。

理由；高齢者の生きがい活動を目的としていることから、妥当である。

④ 廃止・休止の影響

影響がある。

理由；高齢者の社会参加や生きがい活動の促進が停滞する。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

活動への参加者を拡大していくことで成果向上が期待できる。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

参加希望者はすべて受け入れており、公平・公正である。

(4) 効率性評価

他団体との共催事業であるが、実質的な事務は負担金支出と行事への従事であり、削減はできない。関係団体と実行委員会を組織して事業実施するなど、節減に努めている。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

参加者が老人クラブ中心になっていることから、市民に事業開催を広く周知し、参加者を増やす工夫に取り組む。また、来場者についても事業開催を広く周知する。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

老人作品展について、参加者や作品数が増加した場合の会場の確保。

緊急雇用創出事業終了後の市内サロンへの支援について、盛岡市社会福祉協議会とも連携を図りながら、高齢者の見守りや地域とのつながりを深める。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- ☐ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☒ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

高齢者の生きがいづくりを推進する取組として、事業の重要性が増している。

参加者等を増やす工夫に取り組むとともに、盛岡市社会福祉協議会等の関係機関と連携しながら、事業を継続していく。